

(株)東京航業研究所、(有)文化財 COM

6. 発掘調査ならびに整理事業参加者は下記の皆様である。特に、大井氏館跡遺跡第14地点の調査にあたっては富士見市教育委員会ならびに同市作業員の方々に多大な協力を頂いた。また、江川南遺跡第19地点の調査にあたっては上福岡市教育委員会ならびに同市作業員の方々に多大な協力を頂いた。記して厚く感謝の意を表したい。

〈発掘調査参加者〉(敬称略)

新井和枝、飯塚泰子、井上晴江、内田潔、大曾根キク子、笠原英子、加藤智香子、金子君子、小林こずい、河野匠、河野格、酒井昭、佐久間ひろ子、篠崎忠三、鈴木英子、鈴木エミ子、鈴木勝弘、関田成美、高貝しず子、戸澤竹二、中嶋末子、野岡由紀子、林きぬ子、比嘉洋子、増沢勝実、村端和樹、若尾久美子、若林紀美代

(富士見市教育委員会) 飯田久子、上田寛、川上文明、佐々木真理子、島田仁、清水七枝、関根輝子、高野ナミ、塚本政勝、戸田美根子、富田茂夫、中川和弘、成田淑美、成田良一、羽田美代子、吉田信江

(上福岡市教育委員会) 長田弘毅、壺岐ヒサ子、井川弘、宇佐美弘澄、遠藤忠志、小田静夫、小野沢保孝、菊口繁子、西城満期子、鈴木ちい、滝沢久嘉、富寺佐代子、中村正、宮崎達夫、吉田寛

〈整理事業参加者〉(敬称略)

青山奈保美、石垣ゆき子、大久保明子、小林登喜江、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、中田藤子、福島雅子、山口妙子

凡 例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。

(1) 縮尺は原則として

遺構配置図 1 : 300 遺構平面図・遺物出土状況図 1 : 60、1 : 30 炉などの詳細図 1 : 30
土器実測図 1 : 4 土器拓影図 1 : 3 石器実測図 1 : 3、2 : 3 銭 1 : 1

(2) 遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海拔高に同じ。

(3) 遺構図における screen-tone の指示、遺物出土状況のドットの指示。

攪乱  地山(ローム)  焼土 
土器 ● 石器★ 黒曜石・チャート▲ 礫○

(4) 土器実測図における screen-tone の指示。

地文縄文  撚糸文 

(5) 土器断面図は、「網目」が繊維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。

2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号にしている。

3. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括して大井町教育委員会生涯学習課に保管してある。

第4表 2004年度埋蔵文化財調査一覧表

	遺跡・地点名	申請地	面積(㎡)	原因	試掘期間	調査期間	備考
1	鶴ヶ岡外遺跡第2地点	鶴ヶ岡5-196,197の一部	5,000	老人介護施設	2004.12.20~2005.2.2	2005.3.14~	試掘後、調査会で本調査
2	鶴ヶ岡遺跡第3地点	鶴ヶ岡3丁目	2,059	個人住宅	2005.1.7		試掘調査
3	江川東遺跡第8地点	東久保1丁目150他	6,137	共同住宅	2004.3.25~4.8		試掘調査
4	江川東遺跡第9地点	東久保1-6-19	464	保育園	2004.4.9~4.19	2004.5.10~5.25	試掘調査
5	東久保遺跡第58地点	ふじみ野2-27-2	558	分譲住宅	2004.4.13~4.14		試掘調査
6	東久保遺跡第59地点	ふじみ野2-25-7、8、9	1,804	店舗	2004.6.29	2004.7.14~7.23	試掘後、調査会で本調査
7	東久保遺跡第60地点	ふじみ野2-26-16	337	個人住宅	2004.7.22~7.24		試掘調査
8	東久保遺跡第62地点	ふじみ野2-25-16	220	個人住宅	2004.10.12~10.15		試掘調査
9	亀久保堀跡遺跡第30地点	ふじみ野2-25-1	659	店舗	2005.1.11~1.12	2005.1.31~2.7	試掘後、調査会で本調査
10	東久保南遺跡第33地点	ふじみ野4-9-2	354	店舗	2004.7.8~7.9		試掘調査
11	東久保南遺跡第34地点	ふじみ野4-9-2	555	店舗付共同住宅	2004.7.8~7.12		試掘調査
12	東久保南遺跡第35地点	ふじみ野1-5-8	194	個人住宅	2005.1.17		試掘調査
13	東久保南遺跡第36地点	ふじみ野4-8-7	1,005	事務所	2005.1.21~1.27	2005.2.7~2.15	試掘後、調査会で本調査
14	東久保南遺跡第37地点	ふじみ野4-10-1	695	駐車場	2005.2.10~2.14		試掘調査
15	西ノ原遺跡第127地点	旭1-13-4	222	個人住宅	2004.5.24~5.25		試掘調査
16	西ノ原遺跡第127地点	旭1-13-19	105	個人住宅	2004.5.24~5.25		試掘調査
17	西ノ原遺跡第128地点	旭1-16-9、10	614	店舗	2004.6.14~7.15	2004.7.16~9.29	試掘調査
18	西ノ原遺跡第129地点	旭1-11-5	235	共同住宅	2004.9.30~10.7		試掘調査
19	西ノ原遺跡第130地点	旭1-5-8	116	個人住宅	2004.10.14~10.15		試掘調査
20	西ノ原遺跡第131地点	旭1-5-13	97	店舗付個人住宅	2004.10.22		試掘調査
21	中沢前遺跡第25地点	苗間1-10-8	809	共同住宅	2004.6.4~6.10		試掘調査
22	神明後遺跡第23地点	苗間253	62	個人住宅	2004.4.9		試掘調査
23	神明後遺跡第24地点	苗間神明後293-4,10	148	個人住宅	2004.9.30~10.7		試掘調査
24	神明後遺跡第25地点	苗間295-1	660	店舗付個人住宅	2004.9.30~10.7		試掘調査
25	浄禅寺遺跡第24地点	苗間字神明後346-1、2の一部	391	個人住宅	2004.8.30~8.31		試掘調査
26	浄禅寺遺跡第25地点	苗間339-1,2	721	共同住宅	2004.9.22~10.12		試掘調査
27	浄禅寺遺跡第26地点	苗間字神明後354の2の一部	216	分譲住宅	2005.3.3~3.8		試掘調査
28	苗間東久保遺跡第23地点	苗間字東久保640-9	104	個人住宅	2004.9.1		試掘調査
29	小田久保遺跡第6地点	大井小田久保1207-5	306	個人住宅		2004.10.26~11.13	教育委員会で本調査
30	大井宿遺跡第8地点	大井1-6-7	282	個人住宅	2004.4.20		試掘調査
31	大井宿遺跡第10地点	大井1-3-16	341	分譲住宅	2004.9.21~10.6		試掘調査
32	大井宿遺跡第11地点	大井1丁目5番5,11	970	共同住宅	2004.12.10~12.20	2005.1.6~1.29	試掘後、調査会で本調査
33	本村遺跡第112地点	市沢1-17-16	289	共同住宅	2004.7.27		試掘調査
34	大井戸上遺跡第4地点	大井字東台689-3	128	個人住宅	2004.5.27		試掘調査
35	西台遺跡第5地点	大井字西台911-51	139	個人住宅	2004.6.17		試掘調査
36	東台遺跡第41地点	大井字東台648-4	182	個人住宅	2004.5.11~5.14		試掘調査
37	東台遺跡第42地点	大井640-4	515	教会増築	2004.9.7~9.17		試掘調査
38	東台遺跡第43地点	大井東台661-6	964	駐車場	2005.1.13		試掘調査
面積合計			28,657				

XV 神明後遺跡の調査

1 遺跡の立地と環境

神明後遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の東約300m、さかい川の谷頭部から約1,500m下った右岸に位置し、標高12~16m、現谷底との比高差は1.5mを測る。さかい川は本遺跡付近から崖を形成し始め、本遺跡をのせる南側台地は急斜面、対岸の北側は緩やかな斜面を形成している。

周辺の遺跡は、上流に中沢前遺跡、下流に浄禅寺跡遺跡・苗間東久保遺跡が隣接し、さかい川の対岸には富士見市の外記塚遺跡がある。

遺跡周辺は古くからの集落があり、現在でも大きな屋敷地が多く大きな開発もなかったが、ふじみ野駅の開設に伴い今後徐々に再開発が進むと思われる。

本遺跡の最初の調査は1987年に町史編纂事業の一環として行なわれた。その後1993年に新駅へ延びる道路をはじめ、2005年3月現在25地点で試掘調査および発掘調査が行なわれている。

これまでの調査で縄文時代中期後半～後期前半の住居跡、奈良時代から平安時代の住居跡、中世の建物跡などの遺構を検出した。

2 神明後遺跡第18地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2002年4月30日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の北側に位置し、近接地では縄文時代の住居跡を検出しているため、原因者と協議の結果、遺構確認の試掘調査を実施した。

調査は2002年5月13日から同年5月25日に行なった。幅約2mのトレンチ5本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果、全てのトレンチで遺構覆土と思われる黒色土を検出した。遺構の性格を確認するため一部掘り下げて調査したところ、縄文時代の住居跡と時期不明の溝であった。原因者と再協議の結果開発の変更ができないため、原因者負担による本調査を実施することになった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ない、試掘調査を終了した。

本調査は2002年5月27日から同年6月21日まで大井町遺跡調査会が行ない、縄文時代時代中期住居跡5軒、土坑、古代～中世の堀跡を検出した。(大井町遺跡調査会で報告書刊行予定)



第62図 神明後遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

7 神明後遺跡第23地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2004年3月23日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の西端に位置しているため、原因者と協議の結果、遺跡の範囲と遺構確認の試掘調査を実施した。

調査は2004年4月9日に行なった。幅約1mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果、トレンチ2で地下室を検出し、銭貨が出土した。1は寛永通寶の「古寛永」。径25mm、厚さ1.2mm、重さ2.8g。2は寛永通寶の「文銭」。径25mm、厚さ1.5mm、重さ2.8g。確認面まで40cmを測る。検出遺構を調査し写真撮影・全測図作成等記録保存を行ない調査を終了した。

8 神明後遺跡第24地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2004年10月1日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央に位置しているため、原因者と協議の結果、遺構確認の試掘調査を

実施した。

調査は2004年10月2日から同年10月7日まで行なった。幅約1mのトレンチ3本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なったが、遺構・遺物は確認されなかった。確認面まで60cmを測る。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ない調査を終了した。

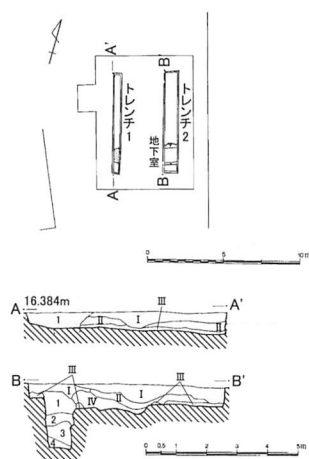
9 神明後遺跡第25地点

(1) 調査の概要

調査は店舗付個人住宅建設に伴うもので、原因者より2004年10月7日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の北側の斜面地でさかい川に臨む位置に立地しているため、原因者と協議の結果、遺跡範囲と遺構確認の試掘調査を実施した。

調査は2004年9月30日から同年10月7日まで行なった。幅約1mのトレンチ4本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なったが、遺構・遺物は確認されなかった。確認面まで60～100cmを測る。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ない調査を終了した。

23地点



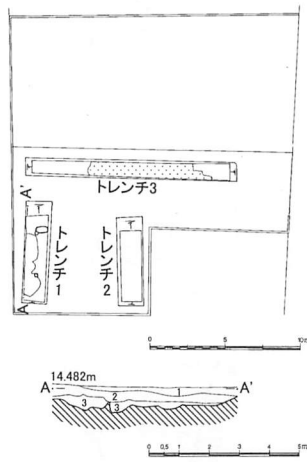
23地点

- I. 黒褐色土 締り弱. 粘性有. 0.2cm以下のロームをシミ状に少し含む
 II. 黒色土 締り弱. 粘性有. I層より黒色でローム粒をほとんど含まない
 III. 黒褐色土 締りやや強. 粘性有. 地山ローム層とII層の漸移層. 縄文土器片出土
 IV. 黒褐色土 + 暗褐色土 II層とシミ状ロームの混合土
 トレンチ1
 1. 地下室埋土 黒褐色土 3cm以下のローム少し含む

トレンチ2

1. 黒褐色土 + 暗褐色土 締り弱. 粘性有. IV層とシミ状ロームの混合. 2cm以下のローム粒を多く含む
 2. 黒褐色土 + 暗褐色土 締り弱. 粘性有. 焼土・釘・銭貨を含む. 灰白色の漆喰も少し含む
 3cm以下のロームブロックを多く含む
 3. 黒褐色土 ロームをほとんど含まない. III層ブロックを少し含む
 4. 黒褐色土 黒色土とIII層の混合土. 2cm以下のロームブロックを極少し含む

24地点

24地点
トレンチ1

1. 砂利
 2. 埋土 黒褐色土 締り有. 焼土塊・炭(焚き火等の跡)・ゴミ混入
 3. 暗褐色土とロームブロックの混合土 締り有. 抜根跡

25地点

1. 表土 黒褐色土 締り弱. 根がはびこる
 2. 地山 暗褐色土 締り有. いわゆるII層
 3. 地山 褐色土 締り有. ソフトローム

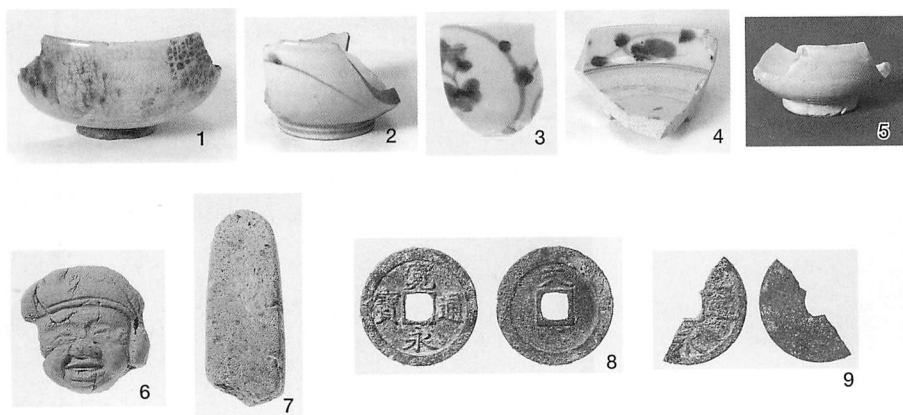
第71図 神明後遺跡第23・24・25地点遺構配置図 (1/500)、土層 (1/250)



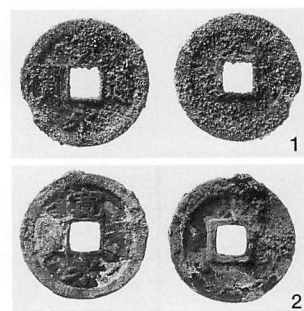
神明後遺跡第22地点土坑 9



神明後遺跡第22地点土坑10



神明後遺跡第22地点出土遺物



神明後遺跡第23地点出土遺物



神明後遺跡第21地点試掘調査



神明後遺跡第23地点地下室



神明後遺跡第24地点試掘調査



神明後遺跡第25地点試掘調査